

本村小学校



本村だより 第12月号

発行所 港区立本村小学校
〒106-0047
港区南麻布3-9-33
TEL:03-3473-1462
FAX:03-3443-8535

大切 わたしも大切、あなたも

校長 山村 登洋

しました。子供たちの合唱、合奏はいかがでしたでしょうか。

音楽会

開校116周年の音楽会には大勢の保護者、地域の皆様にご鑑賞いただきまして、誠にありがとうございました。



音楽会の2日間は、本校の体育館がコンサートのホールに大変身

本村小「人権週間」

日頃の音楽の学習、3週間にわたる音楽会を中心とした授業の成果が出し切れたと思っています。ぜひ、ご家庭でも子供たちの頑張りを褒めていただければ嬉しいです。

12月10日の「世界人権デー」に合わせて、本校は毎年9月と12月に本村小人権週間を設定しています。今回は3、7日です。3日には校長権講話、6日には、代表委員会による人権集会を行います。校長講話や人権集会を通して、改めて身の回りの人権について考える機会としました。私たちは、ややもすると

「いじめ」に向き合う

と自分のことだけを考えるとまいがちですが、子供たちは、周りの人を思いやる心をもち、その心を形として表していくことが重要であること、周りの人を大切にするのは、何より自分自身を大切にすることににつながることに気が付いてほしいと願っています。

子供たちの生活の中で見逃してならない問題として「いじめ」があります。子供たちの心の奥の悩みや不安に寄り添うとともに、「いじめは卑劣で、決して許されない行為だ」ということを今一度しっかりと指導していかねばと思います。子供の見える小さな変化から子供の困り事や悩みに気づき、解決に向け、一緒に考え取り組んでいきたいと思えます。

「正義が勝つ学級」作り

また、「正義が勝つ学級」を子供たちに呼びかけていきます。今の若者の風潮として、



正しいことを正論とすることは格好悪い、正義を主張すると周りから「なんだ、偉そうに」「良い子ぶるなよ」などと言われることで、本当は正しいことを言いたくても、言い出せない、勇気を出さないと正しいことが言えないことがあります。こんな学級では、

子供たちは安心して、そして楽しい学校とは言えません。常に我慢を強いられているからです。いつも、どんなときも、正しいと言える、皆もそれを受け入れる学級、正しいことがまかり通る学級が絶対に必要です。学校では、これからも折りにふれ、「私も大切、あなたも大切」「正義が勝つ学級」を合い言葉に、お互いを尊重し合える関係が築けるよう、指導していききたいと思えます。

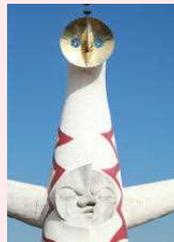
「2025年大阪万博がやって来る！」

11月23日、2025年の万国博覧会の開催地に日本の大阪が選ばれました。大阪は1970年以來の万博です。その当時の様子を紹介します。

○参加国は77カ国、来場者数約6400万人、開催期間は半年。

○国際万博史上、初めての黒字となった。

○パピリオン数は116。アメリカパピリオンには、アポロ計画で持ち帰られた「月の石」が展示され、それを見るために3時間以上並んだ。あきらめる人続出。入場者一番はソ連館だった。



○日本のパピリオンでは、すでに携帯電話やテレビ電話が考案されていた。また、全自動全身洗い機として「人間洗濯機」が考案されていて、注目を浴びた。まだ、発売にはなっていないが。

○松下館の一部の展示物は、2つのタイムカプセルに分けて大阪城公園に埋められている。1つの開封は5000年後の6790年。